Be with all

Special Olympics Nippon

作成日：2025 年 6 月 10 日

SON×芸術花火　～地域の人と交流しながら花火をみよう！～

-名港水上芸術花火 2025-

■ 日　時　：2025 年 5 月 31 日（土）
■ 場　所　：名古屋港ガーデンふ頭（住所：名古屋市港区港町）
■実施内容：1.開始式
　　－企画の趣旨、目的の説明
　　－自己紹介
　　－小塚崇彦さん、トヨタ自動車社員様との交流
　　2.花火観賞
　　3.ボランティア活動（会場片付け、清掃等）
■参加者数：合計　47 名
　　【参加者】SON・愛知 アスリート・ファミリー：34 名／SON・愛知 スタッフ：4 名／
　　トヨタ自動車 社員様：６名／
　　ゲスト：藤井淳志様（中日ドラゴンズ OB）&スタッフ様／
　　小塚崇彦さん（SON ドリームサポーター）
■ サ イ ト ： https://www.nagoya-hanabi.com/

イベント内容

『開始式（自己紹介やトヨタ社員様・小塚崇彦さんとの交流等）』

前日が雨天だったため開催されるか心配していましたが、当日は少しずつ晴れ間も見え出して無事開催されました。しかし気温が低く、海沿いのため風も強く寒くなりました。集合の時、アスリート、ファミリーからの第一声は「今年は花火大会の抽選が当たって嬉しいです！」との声が多く聞かれました。みなさん待ち望んでいたようでした。集合後、小塚さんと合流した時はアスリートたちの表情がパッと華やいで嬉しそうに挨拶していました。また、トヨタ自動車の社員の皆さんも気軽にアスリートに声をかけていただき一瞬のうちに自然に交流ができていました。また、ゲストで中日ドラゴンズ OB 藤井淳志様も加わっていただきみんな楽しい時間を過ごすことができました。

『花火鑑賞』

花火が打ちあがる度に大きな歓声を上げていました。小さなアスリートは最初は目の前であがる花火を怖がっていましたが、時間がたつにつれて花火の美しさに魅了されたようで見入って歓声を上げていました。また、音楽に合わせてアスリートたちは体を揺らしたりリズムを取ったりして楽しんでいました。

『ボランティア活動（会場片付け、清掃等）』

アスリート、ファミリー＆トヨタ自動車社員様とチームを組んで活動しました。社員の方にリーダーになっていただき安全に活動出来るように指示をそれぞれ出していただきながら会場片づけ、清掃を行いました。アスリートたちは社員の皆さんと和気あいあいと交流しながら片付けを行っていました。普段は、自分たちがボランティアを行うことは少ないアスリートですが、積極的に率先して活動していた姿を見られました。みんなで協力しながら予定していた時間より早く終わることが出来て驚きました。また、小塚さんがアスリート、ファミリーや社員のみなさんへの声かけが、みんなの気持ちを盛り上げていたように感じました。

アスリートの感想

■イベントに参加した理由

・海でやる花火をみたことがなかったので見てみたかったから。

・花火大会を見たことがなかったからです。

■芸術花火を鑑賞して

・2 尺玉の花火は、大きくてきれいでした。音もすごく大きくてびっくりしました。

・音は大きかったものの、とても綺麗でダイナミックでした。

■当日参加されていた方々と交流して

・知っている顔のボランティアさんがたくさんいらっしゃいました。「久しぶり！」と声をかけてもらって嬉しかったです。

・長野のナショナルゲームやスケートプログラムでお世話になっている皆さんや、いつもスケートを教えていただいている小塚崇彦先生にお会いできたので、緊張することなく楽しく過ごせました。花火が綺麗だったことをお話できました。

■花火鑑賞後の「ボランティア活動」へ参加して

・最初は何をすればいいか分かりませんでしたが、少しして椅子の片付けが始まったので、問題なかったです。

・椅子の片付けの作業は楽しかったです。みんなで協力して、早くできたことがとてもよかったと思います。

ファミリーの感想

■イベントに参加した理由

・アスリートである息子にはできるだけ多くの経験をさせて生きる力をつけたいと思っているので、ぜひ参加したいと思いました。

・障害のある子との外出は、「当日癇癪が起きたらどうしよう」「周りに迷惑をかけないだろうか」といった不安が常にあり、参加をためらってしまうことが多いです。また一般的なイベントに参加できる機会も少なく、人目を気にしながら行動しなければならない場面も多いため、社会的経験値が健常児に比べて圧倒的に少ないのが現状です。SO のイベントは、同じ立場の仲間が多く、理解ある環境の中で安心して参加できる貴重な機会だと感じ参加しました。

■イベントに参加して ～アスリートの様子について～

・花火はとても楽しかったようで、帰りにニコニコしていました。他の方々と進んでコミュニケーションをとることはなかったですが、帰り道で〇〇ちゃんに会ったよと話していました。本人にとって久しぶりの再会が嬉しかったように思います。

・花火鑑賞後のボランティア活動では、障害のあるなしに関係なく、全員が同じ立場で参加できる空気があり、親としても非常に嬉しく感じました。シール剥がしやゴミ拾い、特に結束バンド拾いでは率先して動き、積極的に自分で役割を見つけて取り組む姿が見られ、このような経験の場は非常に貴重だと感じました。

■日常とは違う経験や交流の機会となった？

・普段とは違う経験になったと思います。人が多くトイレに列を作ったり、地下鉄の超満員も良い経験となりました。

・身体に響くような花火の音に触れて、いつもとは違う方とボランティア活動をしたり、よい経験だったと思います。

・公共の乗り物での移動が少ない息子にとっては、満員電車の経験だけでも非日常の良い経験になりました。こんな経験を積み重ねて欲しいと思っています。また、通常プログラムではあまり会わないアスリートやボランティアさんとの交流もニンゲン大好き人間の息子にとって大切な思い出になりました。

・普段はなかなか体験できない「社会の一員として役割を担う」経験ができました。ボランティア活動の中で、自分ができることを見つけ、誰かの役に立っているという実感が本人の自信につながったように思います。また、他のアスリートやボランティアの方々との交流もあり、安心できる環境の中で社会とのつながりを感じることができました。

SON・愛知ご担当者の感想

前回に引き続きとても素敵な時間でした。花火は素晴らしくアスリート、ファミリー、スタッフへのご褒美でした。会場片付け、清掃のボランティア活動は、アスリートたちにとってとても良い経験となり、社会の一員としての関わりもできて良かったと思いました。トヨタ自動車社員の皆さまから「アスリートと関わりたい、アスリートとのふれあう機会を」というお声も届いており、この活動もその一つの機会となり、アスリートの事を自然なかたちで受け入れることのできる活動だと思いました。アスリートとの触れ合いを色んな方法で実現できることは、共生社会の実現に向けて一歩ずつ進んでいると感じました。アスリート、ファミリー、スタッフ一同関係者の皆様へ感謝申し上げます。

トヨタ自動車 社員の方々の感想

■イベントに参加した理由

・2 年前にもトヨタ自動車として参加させてもらい、また SO コーチとしても他プログラムのアスリートと関われる良い機会と思い参加しました。

・アスリートの皆さんや他のボランティアの方々とわいわいしながら花火を見たいと思い参加しました。

・花火を間近で見れることと、SO のアスリートと交流しながら、ゴミ拾い等のボランティアが楽しくできそうだったので参加しました。

■イベントに参加して

・花火鑑賞中は会話できないものの、一緒に鮮やかな色と迫力ある音に一喜一憂して楽しめました。最後の片付けも役割分担して協力しながら活動でき、予定よりも早く作業を終える事が出来ました。終始みんな笑顔で、やりがいのあるイベントに参加させてもらい嬉しく思います。引き続き SO の取り組みも積極的に参加して、アスリート含めて盛り上げていきたいです。

・花火鑑賞後のボランティア活動でアスリートと一緒にコミュニケーションを取りながら楽しく活動でき、楽しかったです。みんなで協力して作業する事で迅速に片付けが進んで気持ちが良かったです。

・アスリートもとっても楽しんでいたので良かったです。終わりの片づけは、アスリートやファミリーたちとも一緒になって、協力しながら出来て良い活動でした。是非、次回も参加したいと思います。

以上